

豊かな体験活動推進校

伊方小学校



えがおで あいさつ
うつくしい ことば
みんな なかよく

市場小新校舎建設のため、学校紹介の順番が変更になりました。



〒771-0101、きよめ町かい指導

学力向上の取り組み

本校では、指導方法工夫改善教員2人、学校課題解決のための特別非常勤講師1人が配置されています。この3人の教師が、低・中・高学年に分かれたチーム・ティーチング（T-T）として学力補充に取り組んでいます。その方法は、算数の学習を中心に、①分割授業 ②コース別学習 ③パワーアップ学習 ④ミニパワーアップ学習 ⑤個別学習とさまざまです。特にミニパワーアップ学習では、単元の途中で小さなプリント（1枚のプリント4問〜5問）のつづりを与え、自分の力でどんどん進めていきます。できたと同時にマルつけをし、どこが間違えているのかを確かめながら、色々なシールをもらっていきます。子どもたちは、算数が大好きになってきました。「学校が楽しい。毎日の勉強が体育と算数だったらいいの」という声が聞かれます。

豊かな体験活動

平成18度から19年度にかけて、文部科学省「豊かな体験活動推進校」の指定を受けて実践しています。18年度は1年目ということで、各学年の教育課程の中に年間を通して次のような体験活動を位置づけて実践してきました。1年生から4



校歌

一、ひらけ行く世におくれじと
心のまににむちうちて
学びの道を いそぎつづ
われらがみまの まなひやの
とろろはいつぞ 田川なる
伊方の里の鶴ヶ丘

二、地は高くして いえなく
みねにたなびく 春がすみ
野山をかざる 秋もみじ
直垂しける 夏の日や
雪白砂の 冬の朝

三、世に尊ばる 誠突は
天地にはじめ 心にて
もののにいそむ 勤勉は
事をとくへき もといなれ
誠突礼儀 身にしみて
朝を夕なにおこたるな

所在地 福智町伊方 3922 番地 ☎ 22-0127
学校長 矢野治彦 ■教職員数 27人 ■学級数 12学級 ■児童数 326人

↓後輩たちの感謝の気持ちに笑顔がはじける。アーチをくぐって退場する6年生。



6年生を送る会 みんな笑顔でパトントッチ

3月1日体育館で6年生を送る会が催されました。下級生は、今まで伊方小をリードしてくれた6年生に対して感謝の気持ちを込めて歌や合奏を披露。6年生も力強い合奏と歌でこれに応え下級生にエールを送りました。お互いの心を込めた集会は、みんなの心に残るすばらしいものでした。

↓6年生がリーダーシップを発揮。七夕集会以の縦割り活動。



年生では、年間を通して野菜作りを行いました。植えた野菜は、春になすび、ピーマン、オクラ、ツルレイシ、夏にサツマイモ、カボチャ。秋に大根、聖護院カブ、野沢菜、ホウレンソウ、白菜などです。学校の農園では、いつも野菜がたくさん実っていました。子どもたちは毎日献身的に野菜の世話してくれます。だからこそ、収穫をしたときの喜びはひとしおです。その他にも、5年生では、もちろの田植えから収穫。そしてもちつき大会、あられ作り。6年生は、職場体験活動や

一人ひとりを大切に

伊方小学校の6年生は、学校機関車として、全校のリーダーとして、様々な場面で力を発揮してくれまます。6年生を中心とした子どもたちどうしのきずなを深める縦割り活動を充実させています。最上級生としての活動は、5年生の3学期から取り組み開始です。毎年2月に行われる新1年生の体験入学でのお世話

から始まり、1年生入学時には6年生が分団登校、読書の時間の読み聞かせ、給食、掃除、歓迎集会など色々とお世話していきます。

この他にも全校集会以の企画や運営、七夕集会以の縦割り活動のお世話、運動会での方城音頭の指導、スポーツ集会以の企画運営などさまざまな場面で低学年の児童の指導をしてくれています。6年生の姿をよいお手本として、一人ひとりが輝き、大切にされる学校づくりにしていくことを目標としています。



- 1 地域の人びとのかかわりで、働くことのよろこびと大変さを学んだ職場体験学習。
- 2 「楽しみだね、早く食べたいな」自分たちで収穫した野沢菜を漬けるの。
- 3 「ホタルの里大作戦」伊方川の水質検査。
- 4 5 自分たちが植えて収穫したもち米でもちつき大会。地域のみなさんと交流。